

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし24時間ケアサービスステーション美沢
所在地	(〒 940 - 0856) 新潟県長岡市美沢4丁目211番地6		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24時間365日営業。住み慣れた地域の中で築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2016 年 7 月 31 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2017 年 2 月 16 日	出席人数(合計)	(13) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	■自事業所職員 (3人) ■市町村職員 (1人) ■地域包括支援センター職員 (1人) ■地域住民の代表者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者 (0人) ■利用者の家族 (1人) ■知見を有する者 (4人) ■医療従事者 (1人) ■その他 (1人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	事業所独自の理念を掲げ、職員全員が理解し、目指していく。 職員一人一人のレベルアップの為、研修を継続していく。	新たに独自の理念を掲げサービス提供が出来るよう研修等を行い実践してきた。	理念を掲げたことに満足せず、職員のさらなる理解が必要。研修を有意義なものとする工夫が必要。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	病院・医院・訪問看護との連携をタブレットにて情報共有につなげていくと共に、サービスの理解も深めてもらう。 訪問看護の定期利用者以外の利用者に対しても訪問看護との情報共有強化していく。 ご利用者、ご家族の意見を取り入れた計画作成をしていく。	訪問看護・主治医・薬局等とも利用者の情報共有することで医療面のサポートを受けサービスを提供できた。 希望時間に職員配置を多くするなど工夫し利用者の状況に合わせて柔軟に対応してきた。	タブレット活用で情報共有が他職種とも出来ている。 柔軟な対応は評価する。 利用者を第一に考え、家族の意向も聞きサービス提供が必要。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	ケアマネや他サービス事業所とも連携し情報共有をしていく。 病院のケースワーカー等へ積極的に連携していく。 医療連携推進会議への参加者を増やしていく。	医療連携推進会議参加者を増やしたことで有意義な会議の場となった。 タブレットの活用で訪問看護・主治医等との情報共有、ケアマネや他サービスへは情報発信してきた。	医療連携推進会議への参加者が増えたことは評価できるが、有意義な場にするには継続が必要。 タブレット活用だけでなく、多機関との連携を行って下さい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	地域の方にもわかりやすい広報活動をする。	サービス周知のために広報活動はしたが継続的でなかった。	会議参加者へのフィードバック時で欲しい。 地域を知ることからはじめ、地域に合わせた広報にしてください。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	住み慣れた地域で本人の望む在宅生活が継続できるよう、本人と家族と一緒に考えて目標設定していく。	毎月評価を行い、援助の適正を検討し、目標達成についても確認している。	生活の質の向上を考えてサービス提供を継続してください。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>理念の理解を深めるために職員一人一人がこのサービスの良さを発信できるようにしていく必要がある。</p> <p>研修を有意義なものにするため、必要な研修を選択してください。</p>	<p>サービスをより発信できるよう、職員一人一人のレベルアップを目指し、研修を行う。</p> <p>全職員、法令順守していくために指導、研修を行う。</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)</p>	<p>医療面のサポートを受け、このサービスの特性を活かしている。</p> <p>利用者の希望、状況変化に合わせた柔軟な対応をさらに目指して下さい。</p> <p>利用者・ご家族のご意向の把握をしてください。</p>	<p>医療面との情報共有を有効に活用し、利用者へのサービス提供を行う。</p> <p>利用者・ご家族などの意見を聞く姿勢を持ち、要望への対応を迅速に行う。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)</p>	<p>医療連携推進会議、担当者会議等の場を活用して多職種との連携を継続して下さい。</p>	<p>医療連携推進会議の場を有効に活用していく。</p> <p>ケアマネや他サービス事業所との情報共有を継続していく。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)</p>	<p>会議参加者へもその後の情報提供していく。</p> <p>利用者の暮らす地域を理解して、地域の一員として働きかけて下さい。</p>	<p>医療連携推進会議者へのフィードバックを行う。</p> <p>地域の一員として、地域への協力体制の構築を目指す。</p>
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<p>利用者の思いを考え、このサービスが提供したことでの変化に気付け、その人の暮らしを支えて下さい。</p>	<p>住み慣れた地域で本人・家族が望む生活を一緒に考え、継続して暮らせるよう医療面のサポートを強みに目標設定していく。</p>	

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します